

授業科目名	社会実装評価演習		
開講学科・専攻	博士後期課程（共通）（共通）		
科目区分・専攻分野	研究科共通科目		
対象学年	1年	クラス	10
単位区分	選	単位数	2
開講学期	通年	授業形態	博士後◆研究科共通
曜日・時限	集中	講義室	
主担当教員	北出 裕二郎		
担当教員	北出 裕二郎		
目標と内容及び計画	目標：様々なAI技法と、その社会実装の現場を学ぶため、研究室間インターンシップを行う。具体的には以下の教員リストから、主指導教員を除く2研究室程度のゼミに参加し、新しい知識を得るとともに、自身の研究成果についても議論を行う。その活動を通して、異分野と自身の専門分野との接点について考察することにより、キャリアパスの可能性を広げることも期待される。 01) 海洋生物資源学部 教授 北門 利英 02) 海洋生物資源学部 教授 近藤 秀裕 03) 海洋生物資源学部 教授 ストルスマン C A 04) 海洋生物資源学部 教授 廣野 育生 05) 海洋電子機械工学部 教授 清水 悦郎 06) 流通情報工学部 教授 久保 幹雄 07) 流通情報工学部 教授 竹縄 知之 08) 流通情報工学部 教授 兵藤 哲朗 09) 海洋環境科学部 教授 北出 裕二郎 10) 海洋環境科学部 教授 島田 浩二 11) 海洋環境科学部 教授 根本 雅生 12) 海洋環境科学部 准教授 溝端 浩平 内容：研究室インターンシップなので、積極的に研究室のゼミに参加し、他の研究室の研究内容について学び、社会実装の観点から、その成果の重要性について認識することが期待される。また、自身の研究内容についてもゼミにおいて発表・紹介を行い、異分野の研究者や学生から意見をもらうことで、研究の客観性について自己点検を行うことも必要である。 計画： ①選択する2研究室を決定したら、その研究室教員に連絡し、研究室インターンシップの希望を伝達する ②教員から許可を得たら、主担当教員に連絡する ③研究室インターンシップを、研究室ゼミへの参加を通じて開始する。概ね通年で2研究室で各々、6回程度の参加が期待される。 ④研究室インターンシップ終了後、研究室インターンシップの内容について主指導教員に伝達する。主指導教員は評価点を決定し、主担当教員に連絡する。		
成績評価の方法			
その他	主指導教員は研究室インターンシップの対象外となることに留意されたい。		
SDGs（持続可能な開発目標）との関連	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう		